

< 9月第一例会報告 >

書記 野呂 隆



- ・日時：2017年9月21日（木）
19：00～21：00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：合田、佐伯、杉本、館、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)、メネット：合田、佐伯、宗利
ゲスト：学園都市介護支援事業所の職員さん2名

1. プログラム

開会点鐘：

- ・田辺会長の開会挨拶、
- ・ワイズソング斉唱：全員で唱和、
- ・今月の聖句朗読：ドライバー
- ・9月お誕生日お祝い：長坂泰一(9/1)、杉本隆人(9/5)、藤井信人(9/29)

2. メンバースピーチ：檜木善隆メン

テーマ：ヨットは楽しい！

檜木さんは30歳の頃にヨットに興味を持ち始めて、ヨットを購入し、瀬戸内海を横断したり、九州から太平洋に向かってクルージングしたりして楽しんでこられたそうです。また子息などとクルーになってヨットレースに出場し、見事優勝されたこともあり、一家挙げてのヨットファンで相当の腕前と拝察いたしました。

プロジェクターで各部位の説明があり、帆（セール）、船体（ハル）などのほか、珍しいのは船底の中央から水中に突き出しているキルと言う大きな鉄の板で、船の5分の1ほどの重さがあり、船体が横に動くのを防止しているのだそうです。

船は一般に風に弱いですが、ヨットは別で風に向かって45°の角度で進むのがよくて、追い風にはむしろ弱く、風や波の動きをつかみ潮の干満には逆らわないようにすることが大切なのだそうです。



今年の5月に檜木さんが我がクラブの人たち4名を乗せて余島を訪問して、広大な海でのヨット操縦

の難しさや楽しさを体験させていただき、存分に堪能したようでした。

< 10月事務例会報告 >

書記 野呂 隆

- ・日時：2017年10月5日（木）19：00～21：00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：佐伯、杉本、館、達、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)

1. 報告事項

(1) 六甲部会報告 9月24日(日)

- ・出席者：阿部、佐伯、杉本、館、達、田辺、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)

メネット：阿部、杉本、宗利

杉本部長より、出席者139名(登録150名)となり、多数参加いただいて盛大に行うことができ感謝しているとの報告があった。

(2) ワイワイまつり第2回実行委員会報告

9月12日(火) 19：00～ 西神戸YMCA

出席：田辺、藤井(信)

出展ブースの配置、準備スケジュール等について調整した。

(3) チャリティラン協賛委員会報告

9月13日(水) 19：00～ 神戸YMCA

出席：田辺会長、協賛金の協力企業の紹介、近隣小学校へのチラシ配布などの説明があり、参加者に対する賞品について話し合った。次回は10月23日(月) 神戸YMCA

(4) チャリラン実行委員会報告 10月2日(月)18：

30～ 神戸YMCA、出席：藤井(久)

申し込み受けは10月13日(金)までに本部事務局に。出店については保健所、消防署に申告している。参加者は新規ロゴマークのTシャツの着用すること。

(5) 秋の講演会「私の福祉観」

10月28日(土) 13：00～ 神戸YMCA

(6) 12月7日の事務例会に井上総主事出席の予定

2. 協議事項

- (1) 1月以降の例会イベント予定 1月 新年懇親会、

- 2月フルート演奏会、3月ワイナリーの話
- (2) 10月 事務例会 10月5日(木)
第1例会 ワイワイまつり 10月21日(土)
餅つきの食材、備品の準備について協議・調整。
- (3) 11月チャリラン(第1例会)
・食材準備:11月1日(水)、あんこ、黄な粉、片栗粉等
・餅つき準備:11月2日(木)10時集合、洗米・浸漬、用具の確認、搬送者確認
・第1例会(チャリティラン)11月3日(金)
しあわせの村 8時30分集合
- (4) 第2回EMC事業委員会
10月16日(月)18:30~ 出席予定 杉本、達、野呂
- (5) ファンド:ジャガイモは10月20日(金)に入荷予定
- (6) ベルマーク、使用済みインクカートリッジの提供促進の要請があった。
- (7) DBC締結に向けて
岡山クラブの第1例会 11月21日(火)に出席。
予定者:阿部、杉本、田辺、中村、藤井(久)
- (8) 交流ゴルフ大会 11月30日(木)
千刈カントリークラブ、参加予定 杉本
- (9) クリスマス会 12月9日(土)
6:30 礼拝開始とし、詳細は11月例会で協議
- (10) 芦屋クラブ20周年記念例会 12月23日(土)
出席予定 杉本、田辺、中村、藤井(久)
- (11) メネット事業支援金依頼
目標100万円 期日2018年2月15日まで
クラブとして1万円を寄贈することを決定。
3. その他報告・協議事項 YMC Aより、10月から新規ロゴマークのTシャツを着用する。
4. 今後の西日本区・六甲部行事と出席予定者
◎瀬戸山陰部 10/14日(土)13:00~ 杉本、藤井(久)
◎西中国部 10/28日(土)13:00~杉本、藤井(久)
◎びわこ部 11/5(日)13:00~ 杉本、中村、藤井(久)

◎神戸市民クリスマス 12/15(金)

<第16回六甲部部会報告>

会長 田辺征一



初動の遅れ、中村書記PCの故障、部会ポスター記載のメールアドレスの間違い、あつてないような登録締切日など、最後まではらはらした部会であった。しかし、杉本部長の熱意と神戸YMCAの全面的協力のもと、登録者数150名の盛会となった。

会場は新しくなった神戸YMCA会館、式典は杉本部長の強い希望により、会館チャペルで行われた。好評のスタンドグラスのもとバナーセレモニーから閉会点鐘まで滞りなく終了。

式典に先立ち、別室にてメネットアワーが開かれ、60名参加のもと今期のテーマ「子どもの貧困」について学ぶ時が持たれた。

懇親会は会場を北野プラザ六甲荘に移して、西垣夫妻による「オータムコンサート」で幕開け。夫妻は国際的に活躍されている声楽家で、藤井久子ワイズも師事されている。久方ぶりに生のソプラノ、テノールに酔いしれ、一同、大満足。

六甲部の良さが出た部会になったのではないだろうか。

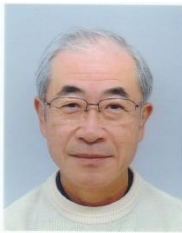


<ANA チャーター便で行くスイス
ゆったりアルプス3大名峰と氷河特急デラックスシート9> (第3回)

丹家元陽 メン

7月12日(火)

19℃ 湿度 50% 晴。バスはインターラーケンに戻り、プリエンツ湖を左手に見ながら一路東へ。途中のフルカ峠、グリムゼル峠は標高2164m。雪渓があちこちで寒い。道は二車線だが深い霧の中、数百m下に谷底があるという表六甲ドライブウェイをかなりのスピードで走る感じ。車の窓の下がすぐ路肩。しかもガードレールなしのスリル。そしてアンデルマツ着で昼食。まずは地ビールが喉を通過。前菜はラクレット(溶かしたチーズ)でじゃがいもを頂く。メインは舌ビラメのムニエル。デザートはスポンジケーキ。さあ、ここからは憧れの氷河特急にてスイス最南端の Zermatt まで約 3 時間の旅。車窓の両側、どこを見ても絵葉書になる。近くを流れる川は氷河からの雪解け水で白い。牧草地に点在する家々、ブドウ畑、細い滝が山から落ち、その上には氷河も見える。乗車記念に首の傾いたワイングラスを購入。急坂を走る氷河特急の中でもワインがこぼれないようにとの工夫。PM6:10 ツェル



マツ着。標高 1605m 14℃。ここでは環境保護が徹底していて一般車は約 5km 手前のテーシュの駅前大駐車場まで。そこからは電気自動車のみ通行可で空気がおいしい。ホテルまでゆっくり歩いても数分。ホテルの前まで来た時に突然「もう少し先まで行きましょう」と添乗員さんが言う。何があるのかとゾロゾロ歩いて2~3分の教会の前。「アッ！見えました！」なんと前の家の屋根の向こうに三角形のピラミッドが！そう西日を受けて輝くあのマッターホルンです。みんな大興奮での写真会。山の天気は刻々と変わる。その時の空の様子、時間を見計らったのベテラン添乗員さんの機転に大拍手。ここは年間約 360 万人が訪れ、夏はその2割で、残りの8割が冬に来るといふ。夕食はまずビール、次に白ワインで、チキンロイヤルスープに始まり、メインは豚肉ソテーにパスタ、ホウレンソウ添え。部屋の窓からもマッターホルンが少し見える。

< 今 月 の 聖 句 >

私が来たのは、正しい人ではなく、罪人を招くためである。

「イエスはそこをたち、通りがかりに、マタイという人が収税所に座っているのを見かけて、『私に従いなさい』と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。イエスはその家で食事をしておられた時のことである。徴税人^{つみびと}や罪人も大勢やって来て、イエスや弟子たちと同席していた。ファリサイ派の人々はこれを見て、弟子たちに、『なぜ、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか』と言った。イエスはこれを聞いて言われた。『医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。『私が求めるのは憐みであって、いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。』 (マタイによる福音書9章9~13)

親鸞が唱えた悪人正機説「善人なおもって往生をとぐ、いわんや悪人をや」に通じるものがある。イエスは道すがら、マタイという男が収税所に座しているのを目にする。群衆はイエスのもとに行ったのに、マタイは徴税人ゆえにその仲間に入ることができずにいた。

徴税人はローマ帝国のためにユダヤの民から税金を徴収する役目。強奪者と呼ばれ、嫌悪の的にされ、当時、遊女と共に「公認された罪人」とされていた。なかでも律法の遵守に厳格なパリサイ派の人々は、徴税人と一緒に食事することは嫌悪すべきことであり、大きな罪を犯すことだと考えた。

ところが、イエスはこのタブーを破り、徴税人のマタイをはじめ罪人と共に食卓を囲んだ。そして、自らを「義人」と称している人々ではなく、彼らによって「罪人」のレッテルを張られた人々を招くために来たのだと宣言する。マタイが立ち上がってイエスに従った時、彼の心にこれまで味わうことのなかった喜びと平安が満ちあふれ、イエス・キリストにあって新しいブドウ酒(イエスの教え)を入れる新しい皮袋(器)となり、イエスの使徒になった。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～